

## STEP 8. 条件に合う値を合計する SUMIF(サムイフ)

### 1. 表を用意しましょう

A	B	C	D	E	F	G
1	SUMIFの練習					
2	日付	摘要	収入	支出		
3	3月1日	おこづかい	20,000			
4	3月3日	ケーキ		3,150		
5	3月4日	黒木屋		2,300		
6	3月10日	パン		300		
7	3月15日	ケーキ		2,500		
8	3月16日	パン		1,200		
9	3月20日	パン		200		
10	3月22日	パチンコ	5,000			
11	3月24日	黒木屋		3,500		
12	4月1日	おこづかい	20,000			
13	4月3日	ケーキ		1,800		
14	4月5日	パン		210		
15						
16	3,000円以上の支出の合計					
17	2,000円以下の支出の合計					
18	ケーキを買うのに使ったお金					
19	パンを買うのに使ったお金					
20	おこづかいの合計					

1 ファイル「SUMIFの練習」を開きます。

ファイル「SUMIFの練習」が見つからないときは教室の先生にお尋ねください。

### 2. セル「E16」に、SUMIF関数を使い、「3,000円以上の支出の合計」を表示しましょう

A	B	C	D	E	F	G
7	3月15日	ケーキ		2,500		
8	3月16日	パン		1,200		
9	3月20日	パン		200		
10	3月22日	パチンコ	5,000			
11	3月24日	黒木屋		3,500		
12	4月1日	おこづかい	20,000			
13	4月3日	ケーキ		1,800		
14	4月5日	パン		210		
15						
16	3,000円以上の支出の合計					
17	2,000円以下の支出の合計					
18	ケーキを買うのに使ったお金					
19	パンを買うのに使ったお金					
20	おこづかいの合計					
21						
22						
23						
24						

1 セル「E16」を選択します。

2 「数式」をクリックします。

3 「数学/三角」をクリックします。

4 「SUMIF」をクリックします。

	A	B	C	D
7		3月15日	ケーキ	
8		3月16日	パン	
9		3月20日	パン	
10		3月22日	パチンコ	5,000
11		3月24日	黒木屋	
12		4月1日	おこづかい	20,000
13		4月3日	ケーキ	
14		4月5日	パン	
15				
16		3,000円以上の支出の合計		

5 範囲の をクリックします。

関数の引数

SUMIF

範囲  = 参照

検索条件  = すべて

合計範囲  = 参照

=

指定した検索条件に一致するセルの値を合計します

範囲 には値を求める対象となるセル範囲を指定します

数式の結果 =

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

	A	B	C	D	E	F	G	
1	SUMIFの練習							
2		日付	摘要	収入	支出			
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16		3,000円以上の支出の合計						
17		ケーキを買うのに使ったお金						
18								

E3 :    fx =SUMIF(E3:E14)

日付	摘要	収入	支出
3月1日	おこづかい	20,000	
3月2日	ケーキ		2,000
3月15日	ケーキ		2,000
3月16日	パン		1,000
3月20日	パン		1,000
3月22日	パチンコ	5,000	
3月24日	黒木屋		3,000
4月1日	おこづかい	20,000	
4月3日	ケーキ		1,000
4月5日	パン		1,100

関数の引数  
E3:E14

3,000円以上の支出の合計 )

7  をクリックします。

6 セル「E3」から「E14」をドラッグして選択します。

E16 :    fx =SUMIF(E3:E14,">=3000")

日付	摘要	収入	支出
3月1日	おこづかい	20,000	
3月2日	ケーキ		2,000
3月15日	ケーキ		2,000
3月16日	パン		1,000
3月20日	パン		1,000
3月22日	パチンコ	5,000	
3月24日	黒木屋		3,000
4月1日	おこづかい	20,000	
4月3日	ケーキ		1,000
4月5日	パン		1,100

関数の引数  
SUMIF

範囲 E3:E14 = {0;3150;2300;300;2500;1200;200}

検索条件 ">=3000" = ">=3000"

合計範囲 = 参照

= 6650

指定した検索条件に一致するセルの値を合計します

検索条件 には計算の対象となるセルを定義する条件を数値、式、または文字列で指定します

数式の結果 = 6,650

この関数のヘルプ(H)

OK キャンセル

8 検索条件に半角で「>=3000」を入力します。

9 「OK」をクリックします。

”>=3000”  
「”」は省略してもかまいません。

E16 :  $\times \checkmark f_x$  =SUMIF(E3:E14,">=3000")

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1		SUMIFの練習								
2		日付	摘要	収入	支出					
3		3月1日	おこづかい	20,000						
4		3月3日	ケーキ		3,150					
5		3月4日	黒木屋		2,300					
6		3月10日	パン		300					
7		3月15日	ケーキ		2,500					
8		3月16日	パン		1,200					
9		3月20日	パン		200					
10		3月22日	パチンコ	5,000						
11		3月24日	黒木屋		3,500					
12		4月1日	おこづかい	20,000						
13		4月3日	ケーキ		1,800					
14		4月5日	パン		210					
15										
16		3,000円以上の支出の合計			6,650					
17		2,000円以下の支出の合計								
18		ケーキを買うのに使ったお金								
19		パンを買うのに使ったお金								
20		おこづかいの合計								
21										
22										

3,000円以上の支出の合計が6,650と表示されています。

3,000円以上の支出は  
3月3日の3,150円  
3月24日の3,500円  
ですね。

3,000円以上の支出の合計が表示されました。

## ポイント SUMIF (サムイフ) 関数

指定された検索条件に一致するセルの値を合計します。

### SUMIF (範囲, 検索条件, [合計範囲])

- 「範囲」で指定されたセルの中から「検索条件」で指定された条件に合うセルを探し、「合計範囲」で指定したセルの値を合計します。  
「合計範囲」が省略された場合、「範囲」で指定したセルを合計します。

下の例の場合は「合計範囲」が省略されていますね。

SUMIF (E3:E14, ">=3000") ⇒ 6650

範囲                      検索条件

セル範囲「E3」～「E14」の中で条件「>=3000」(3000以上)に合うセルを探し、その値を合計します。

条件に合うセルは「E4」の「3,150」と「E11」の「3,500」の2つなので、この値を合計すると「6,650」になるわけですね。

## 練習問題

- セル「E17」に 2,000 円以下の支出の合計を表示しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1		SUMIFの練習								
2		日付	摘要	収入	支出					
3		3月1日	おこづかい	20,000						
4		3月3日	ケーキ		3,150					
5		3月4日	黒木屋		2,300					
6		3月10日	パン		300					
7		3月15日	ケーキ		2,500					
8		3月16日	パン		1,200					
9		3月20日	パン		200					
10		3月22日	パチンコ	5,000						
11		3月24日	黒木屋		3,500					
12		4月1日	おこづかい	20,000						
13		4月3日	ケーキ		1,800					
14		4月5日	パン		210					
15										
16		3,000円以上の支出の合計			6,650					
17		2,000円以下の支出の合計			3,710					
18		ケーキを買うのに使ったお金								
19		パンを買うのに使ったお金								
20		おこづかいの合計								
21										

### ヒント

関数の引数 ? X

SUMIF

範囲  = {0;3150;2300;300;2500;1200;200}

検索条件  = "<=2000"

合計範囲  = 参照

= 3710

指定した検索条件に一致するセルの値を合計します

検索条件 には計算の対象となるセルを定義する条件を数値、式、または文字列で指定します

数式の結果 = 3,710

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

### 3. セル「E18」に、SUMIF 関数を使い、「ケーキを買うのに使ったお金」を表示しましょう

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
7		3月15日	ケーキ		2,500					
8		3月16日	パン		1,200					
9		3月20日	パン		200					
10		3月22日	パチンコ	5,000						
11		3月24日	黒木屋		3,500					
12		4月1日	おこづかい	20,000						
13		4月3日	ケーキ		1,800					
14		4月5日	パン		210					
15										
16		3,000円以上の支出の合計			6,650					
17		2,000円以下の支出の合計			3,110					
18		ケーキを買うのに使ったお金								
19		パンを買うのに使ったお金								
20		おこづかいの合計								
21										
22										
23										
24										
25										
26										

1 セル「E18」を選択します。

2 「数式」をクリックします。

3 「数学/三角」をクリックします。

4 「SUMIF」をクリックします。

	A	B	C	D
7		3月15日	ケーキ	
8		3月16日	パン	
9		3月20日	パン	
10		3月22日	パチンコ	5,000
11		3月24日	黒木屋	
12		4月1日	おこづかい	20,000
13		4月3日	ケーキ	
14		4月5日	パン	
15				
16		3,000円以上の支出の合計		

E18 :    fx =SUMIF(C3:C14)

1	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		日付	摘要	収入	支出		
3		01/10	おこづかい	20,000			
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18			ケーキを買うのに使ったお金		C14		

関数の引数

SUMIF

範囲 C3:C14 = {"おこづかい";"ケーキ";"黒木屋";"パ..."}

検索条件 = すべて

合計範囲 = 参照

=

指定した検索条件に一致するセルの値を合計します

範囲 には値を求める対象となるセル範囲を指定します

数式の結果 =

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

5 範囲に「C3 : C14」を入力します。

セル「C3」～「C14」をドラッグしましょう。

E18 :    fx =SUMIF(C3:C14,"ケーキ")

1	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		日付	摘要	収入	支出		
3		01/10	おこづかい	20,000			
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18			ケーキを買うのに使ったお金		キ")		

関数の引数

SUMIF

範囲 C3:C14 = {"おこづかい";"ケーキ";"黒木屋";"パン";

検索条件 "ケーキ" = "ケーキ"

合計範囲 = 参照

= 0

指定した検索条件に一致するセルの値を合計します

検索条件 には計算の対象となるセルを定義する条件を数値、式、または文字列で指定します

数式の結果 = 0

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

6 検索条件に「"ケーキ"」を入力します。

"ケーキ"  
「"」は省略してもかまいません。



## 解説

下の例の場合は「合計範囲」が省略されずに設定されていますね。

SUMIF ( C3:C14, "ケーキ", E3:E14 ) ⇒ 7450  
                   範囲                  検索条件                  合計範囲

セル範囲「C3」～「C14」の中で条件「ケーキ」のセルを探し、そのセルの位置に対応する合計範囲のセル位置の値を合計します。

条件に合うセルは「C4」、「C7」、「C13」ですね、そのセルに対応する「合計範囲」のセルは「E4」、「E7」、「E13」になります。これらのセルの値を合計すれば「7,450」になるわけですね。

	A	B	C	D	E	F	G
1		SUMIFの練習					
2		日付	摘要	収入	支出		
3		3月1日	おこづかい	20,000			
4		3月3日	ケーキ		3,150		
5		3月4日	黒木屋		2,300		
6		3月10日	パン		300		
7		3月15日	ケーキ		2,500		
8		3月16日	パン		1,200		
9		3月20日	パン		200		
10		3月22日	パチンコ	5,000			
11		3月24日	黒木屋		3,500		
12		4月1日	おこづかい	20,000			
13		4月3日	ケーキ		1,800		
14		4月5日	パン		210		
15							
16		3,000円以上の支出の合計			6,650		
17		2,000円以下の支出の合計			3,710		
18		ケーキを買うのに使ったお金			7,450		
19		パンを買うのに使ったお金					
20		おこづかいの合計					
21							

「範囲」

「合計範囲」

## 練習問題

- セル「E19」にパンを買うのに使ったお金の合計を表示しましょう。
- セル「E20」におこづかいの合計を表示しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1		SUMIFの練習								
2		日付	摘要	収入	支出					
3		3月1日	おこづかい	20,000						
4		3月3日	ケーキ		3,150					
5		3月4日	黒木屋		2,300					
6		3月10日	パン		300					
7		3月15日	ケーキ		2,500					
8		3月16日	パン		1,200					
9		3月20日	パン		200					
10		3月22日	パチンコ	5,000						
11		3月24日	黒木屋		3,500					
12		4月1日	おこづかい	20,000						
13		4月3日	ケーキ		1,800					
14		4月5日	パン		210					
15										
16		3,000円以上の支出の合計			6,650					
17		2,000円以下の支出の合計			3,710					
18		ケーキを買うのに使ったお金			7,450					
19		パンを買うのに使ったお金			1,910					
20		おこづかいの合計			40,000					
21										

### ヒント

関数の引数

SUMIF

範囲 C3:C14 = {"おこづかい";"ケーキ";"黒木屋";"パ...

検索条件 "パン" = "パン"

合計範囲 E3:E14 = {0;3150;2300;300;2500;1200;2...}

= 1910

指定した検索条件に一致するセルの値の範囲

関数の引数

SUMIF

範囲 C3:C14 = {"おこづかい";"ケーキ";"黒木屋";"パ...

検索条件 "おこづかい" = "おこづかい"

合計範囲 D3:D14 = {20000;0;0;0;0;0;5000;0;200...}

= 40000

指定した検索条件に一致するセルの値を合計します

範囲 には値を求める対象となるセル範囲を指定します

数式の結果 = 40,000

[この関数のヘルプ\(H\)](#)

OK キャンセル

- ファイルを保存せずに閉じましょう。